

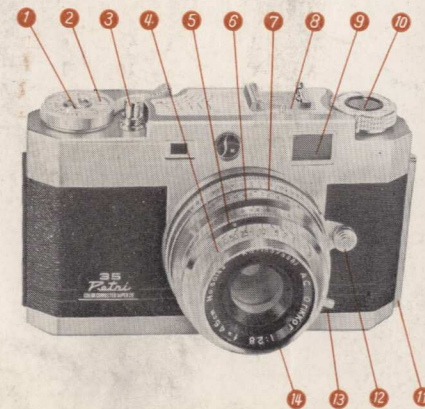
PETRI 35 camera

INSTRUCTION Book



Kuribayashi Camera Industry, Inc.

PETRI camera



- ① フィルム No.
- ② 捲取りレバーハンドル
- ③ シャッターボタン
- ④ シャッタースピード
- ⑤ 絞り (指示表)
- ⑥ 深度表
- ⑦ 距り目盛
- ⑧ アクセサリークリップ
- ⑨ 連動距離計ファインダー
- ⑩ 捲戻し (ハンドル)
- ⑪ 裏蓋開閉レバー
- ⑫ ヘリコイドレバー
- ⑬ シンクローターミナル
- ⑭ オリコールレンズ

歴 史 信 用 技 術 設 備 優 美 一貫作業

PETRI 35 camera

弊社はカメラの製造を初めました大正初期より四十余年の歴史を持ち、国産最古のカメラメーカーで今迄に十数種のカメラを世に送り出して居ります。大正初期にスピードフレックス、昭和に入りセミファースト等ファーストカメラ全種を製造し昭和23年頃になり、ペトリ、カロロン等記憶に新しい処と存じます。近年ペトリRF、ペトリスーパー、ペトリフレックス等々発売して広く内外の皆様から親しまれて居ります。

弊社は四十余年の写真機製造の永い経験と併せて設計、技術、検査、各部等豊富な技術陣を動員し、又最

も進歩した多角的な工場設備を持ちレンズ、母体、シャッターと其の仕上 (プレス、旋盤、鍍金、塗装) より組立に至る一貫作業により造られて居ります。近代的なコンベヤメーションによるシャッター組立、レンズ生地より荒ざり加工、レンズ研磨、レンズ精密検査とすべて粗材より仕上、組立、検査、完製品の行程によりペトリ35カメラを作り出して居ります。

ペトリ35カメラの一大特徴は堅牢にして優美なこととあります。母体より距離計、シャッターは勿論、各部細密な部品に至る迄親切な工作と優美さは他に類が見られない所とあります。又高性能にして国際価格に達した価格、此の二大特徴を誇りと致して居ります。

CARPERU

SHUTTER

カーペルシャッター

シャッタースピード

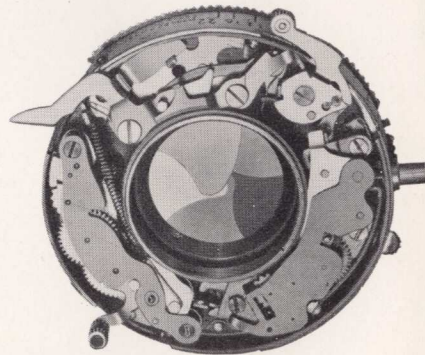
B, 1秒 \sim 1/300秒 セルフタイマー内蔵

5枚羽

フラッシュ撮影にMXS接点装備

PETRI camera

CARPERU M.X.S



SHUTTER

① カーペルシャッターはリリースアクションの軽いのを一大特徴と致して居ります。

② プロンタータイプで故障絶無のシャッターであります。

③ セットレバーを内蔵してフィルムの捲上げと同時にチャージされます。

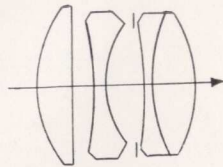
④ 近代シャッターの必須条件であります、フラッシュ撮影にMXS接点をビルトインし、**弊社オートコンペヤー**により作られた**優秀シャッター**であります。

⑤ デザインはペトリ35カメラによくマッチした優美さを持つて居ります。

ORIKKOR LENS

ORIKKOR LENS F/2.8

オリコールレンズ



高度の鮮鋭度

画面全般に亘る均一性

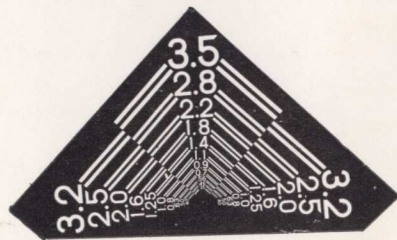
カラー撮影に最適

アンバーコーティング

新種光学ガラス使用

により各収差は最大限に矯正された

TEST CHART



オリコール F2.8 45 mm レンズに就いて

写真レンズの性能として最も重要な事は画面全般にわたる鮮鋭度の均一性であります。

オリコールレンズは在来のテッサータイプの各要素に就き精密且つ徹底的な検討を加え、改良設計を行ったもので、高屈折率の新種硝子を使用する事に依り、球面収差、非点収差、コマ収差等各収差は最大限に矯正され、亦絞りによる焦点面の移動も僅少でありアンバーコーティングの採用と相まつて距離計連動35mmカメラとして高度の性能を発揮する解像力の良い描写に深みのあるカラー撮影に最適のレンズと言えます。

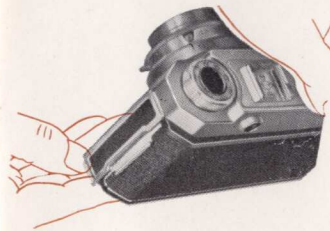
PETRI camera

ペトリ35カメラの機構

ペトリ35はライカ判専用カメラとして、35mmフィルム（20枚、36枚）を使つて、其の精度を高めると共に速写性を十分に生かす様設計されて居ります。

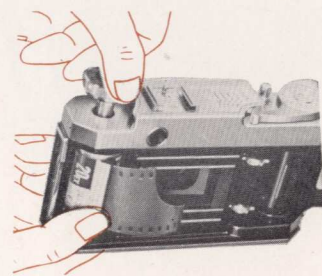
ペトリ35はヘリコイド式連動距離計を持ち、ヘリコイドを動かすことにより一眼式ファインダーよりのぞく視野にピンクの二重像合致式となり操作の容易と共に完全な連動距離計であります。

フィルム捲上げはレバー式、ワンストロークでフィルム一枚を送り、シャッターセットはフィルム捲上げと同時に成つて居ります故、捲上レバーを捲き、距離計を合わせ、シャッターを切る速写性にとんだ機構は操作を一層容易にして居ります。



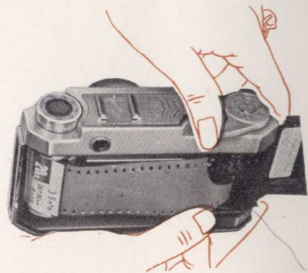
裏蓋開閉

レバーを引き裏蓋を開きます。



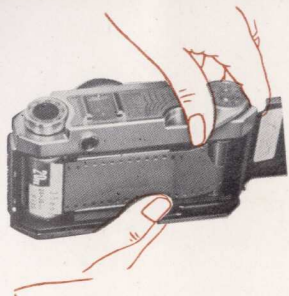
フィルム装填 (A)

写真の様にマガジンを装填します。



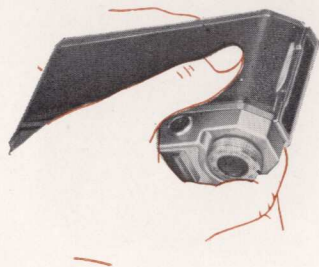
フィルム装填 (B)

フィルムの先端を捲取用スプールの溝に差込みます。



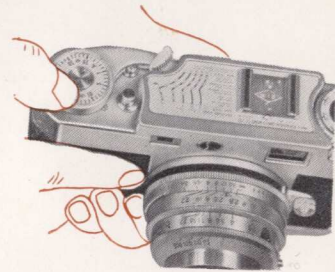
フィルム装填 (C)

フィルムをフィルムの両端の穴が歯車にかかるまで捲き上げます。



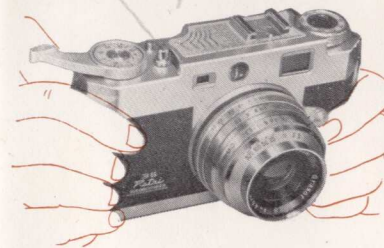
裏蓋閉鎖

裏蓋は図の様に押す事によつて自動的に閉ります。



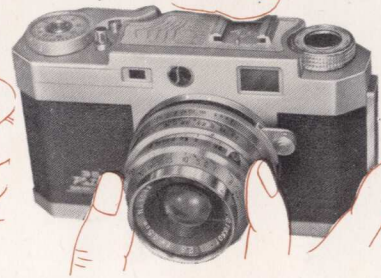
フィルム指示表 (A)

フィルム指示表が赤印を指す様にします。



フィルム指示表 (B)

フィルムをボデーシャッターと捲上げハンドルを交互に操作してフィルム指示表が No.1 になるまで捲上げます。
捲上げハンドルは止る所迄完全に捲上げて下さい。

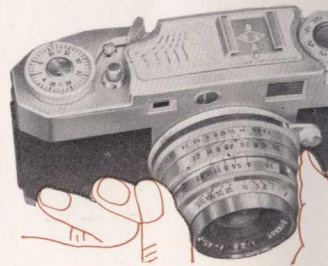


露出設定 (A)

シャッターダイヤルを廻す事によつてシャッター速度を決めます。



フィルムを捲上げシャッターがセツトされている時、シャッター速度を変える事はシャッター故障のもととなります。



露出設定 (B)

絞り調節レバーを操作して露出をきめます。

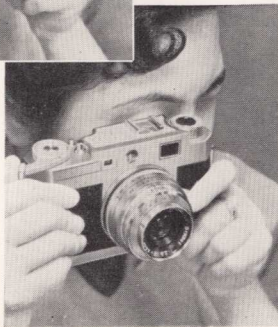
カメラの構え方

35mmカメラは原板サイズが小さいため、わずかのカメラぶれも写真の鮮鋭度に大きく影響します。従つてカメラの構え方は二眼レフやスプリングカメラ以上に注意が必要です。カメラを構えるには縦位置の場合でも横位置の場合でも両肘はできるだけ体につけ、安定した姿勢で無理なく構えるということが大切です。無理な姿勢、不安定な構えはカメラぶれの原因になります。これではいくら高級カメラを使用してもボックスカメラで撮影した写真に劣るといふ結果にもなりかねません。



ファインダーを覗き視野をきめる。

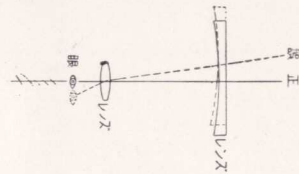
下図に示された様に二重像が合致する迄ヘリコイドを移動し、そしてボデーシャッターを押す事によつて撮影が行われます。



ファインダーの見方

35mmカメラのファインダーの種類、機能については種々あり精度も高度のものとなつて居りますが、いくらファインダーが正確に出来ていてもその見方が悪いと希望通りに写すことが出来ません。35mmカメラのファインダーは透視ファインダーが多く、逆ガリレオ式になつていますから接眼部の中心を正しく見るようにしなくてはなりません。

もし斜めに見ると視野は変つてしまい、実画面と異つた視野を見ていることになります。従つて人物を正しく画面の中央に写したつもりでいても人物は画面のどちらかに片寄つてしまいます。又目は出来るだけ接眼部に接近して見る様にしないと画面いつばいに写したいと思つても実際には被写体は少なくなり、周囲に不要のものが写り込みます。



眼鏡をかけて居る人は前述の欠点に陥り易いため余裕のある場合は、一度眼鏡をはずし、ファインダーを見て画角をよく確かめておくのも一法です。

PETRI camera

絞りとシャッターの調節

絞りとシャッターの調節は天候（晴、曇、雨）、季節（春、夏、秋、冬）等により異なりますが、右に示す表を御参照になつて下さい。而し大体の標準です故少々はその時、場所、背景等により異なりますがそれに応じて適性な露出を決めます。露出の適性、不適性はフィルムの受ける感光度の大小です故写真に最も影響します。少な過ぎたり、多すぎたりする場合は印画に白く出たり、黒く出たり良い写真が得られません。又現像は（20枚～36枚）一本を一回に行います故各一駒一駒が適性でも一本が均一な露出になつていないと現像時間を片方に合わせる為不均一のものは不良になります。昼間撮影と朝夕撮影を一本に収める時は特に正しい露出を決めなくてはなりません。

四季の簡易露出表

午前10時～午後2時

被写体	季節			
	春	夏	秋	冬
月	3, 4, 5	6, 7, 8	9, 10, 11	12, 1, 2
海、山、雪景 展開した風景	f 16 1/300 秒	f 22 1/300 秒	f 16 1/300 秒	f 11 1/300 秒
普通風景	f 11 1/300 秒	f 16 1/300 秒	f 11 1/300 秒	f 8 1/300 秒
明るい街路 スナック	f 8 1/300 秒	f 11 1/300 秒	f 8 1/300 秒	f 8 1/100 秒
戸外集合人物	f 8 1/100 秒	f 8 1/300 秒	f 8 1/100 秒	f 5.6 1/100 秒
戸外人物大寫	f 5.6 1/100 秒	f 5.6 1/300 秒	f 5.6 1/50 秒	f 4 1/50 秒
日蔭人物	f 4 1/100 秒	f 4 1/300 秒	f 4 1/50 秒	f 4 1/25 秒
天候	快晴	薄曇	普通曇	極曇
	上記標準	2 倍	3 倍	4 倍
時刻	午前10時～午後2時 標準	午前9時～10時 午後2時～3時	2 倍	午前8時～9時 午後3時～4時
フィルム	ASA 100 標準		ASA 50 2倍	

オリコールレンズの特徴

35mmカメラレンズは引伸しに於いて相当過度な引伸しを要求されるので非常に高度のものでなければなりません。其の為ペトリ35用オリコールレンズの使用材料は光学的、材質的に最も新しく進歩したものであります。

オリコールレンズの45mmという焦点距離は準広角とも云えるものでそれだけ焦点深度も深く瞬間にピントを合わせシャッターを切らねばならないスナツプ撮影には至便です。

一大特徴として2.0 feet まで近接撮影が可能なことと、カラー撮影に最適なアンバーコーティングをしたオリコールレンズとカメラの持つ内面反射防止装置によりカラー撮影も安心してシャッターが切れます。

ペトリ35はスマートな外観と優れたオリコールレンズの性能により必ずや貴方の写真を満足させることでありませう。

カーペルシャッター MXS

シンクロ……シンクロコード（ドイツ式）をシャッターのシンクロ接点に差込むだけであらゆる閃光電球が全シャッタースピードにフルシンクロ致します。閃光電球にはM級、F級の二種類があります。

X 接点……切換レバーをXの位置におき、シャッターを切ることによりシャッター全開時にシンクロし（タイムラグ0） $\frac{1}{100}$ 秒以上の高速シャッターを使用の場合ストロボ専用となる（ストロボ使用全シャッタースピード同調）

F 接点……切換レバーをM、Fの位置におきシャッターを切ることによりシャッター開放寸前にシンクロし（全開時迄のタイムラグ4m/mセカンド）F級電球を使用することにより全シャッタースピードに同調いたします。

M 接点……切換レバーをM、Fの位置におき、シャッターをセットし、セルフタイマーをかけ、シャッターを切ることによりシャッター開放前にシンクロし（シャッター全開時迄のタイムラグ20m/mセカンド）M級の電球を使用することにより、全シャッタースピードに同調します。

M接点使用のセルフタイマーのレバーをセットしてもシャッターレバーセットのない場合はシャッターは切れない（安全装置）

S 接点……接点をXの位置におくことによりセルフタイマーを使用することが出来る。此の場合セルフタイマーを使用しながらシンクロを必要とする際はストロボ以外の使用に対してF級の球を使用し $\frac{1}{50}$ 秒以下のシャッターを使用する。

焦点深度の活用

焦点深度はレンズの絞りに関係があるだけでなく、レンズの焦点距離の違いにより変化します。同一F値レンズでも焦点距離の短いレンズは焦点深度が深く、長いレンズは浅くなります。同じF2.8であつてもmm判の45mmのレンズは6×6判、セミ判の75mmのレンズより深い焦点深度を持つて居ります。又同レンズでも近距離にピントを合わせると焦点深度は浅いが遠距離では深くなり、尙ピントを合わせた中心より遠方に深く手前の方に浅くなつております。こうした焦点深度には一定の基準があり、これにより算した焦点深度の目盛を表にしたものが焦点深度表であります。

この焦点深度表によれば、正しくピントの合う範囲がたゞちに分り撮影が迅速に行われます。例えば4.5

ORIKKOR 1:2.8 f=45 mm

Depth Guide

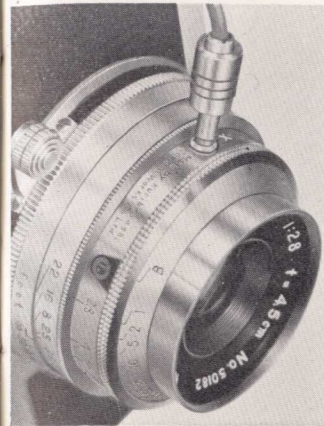
F Feet	2.8	4	5.6	8	11	16	22
2	2.06-1.93	2.10-1.90	2.14-1.87	2.20-1.82	2.30-1.77	2.47-1.67	2.70-1.59
2.4	2.50-2.30	2.54-2.26	2.61-2.22	2.71-2.15	2.85-2.06	3.12-1.94	3.36-1.82
2.8	2.94-2.67	3.00-2.62	3.10-2.56	3.22-2.46	3.36-2.30	3.84-2.20	4.50-2.03
3.4	3.61-3.21	3.70-3.14	3.84-3.04	4.08-2.91	4.42-2.76	5.12-2.55	6.30-2.33
4.5	4.88-4.18	5.07-4.04	5.35-3.75	5.80-3.68	6.50-3.44	8.17-3.12	11.70-2.79
6	6.72-5.43	7.10-5.22	7.62-4.95	8.60-4.62	10.03-4.24	15.10-3.74	35.50-3.28
8	9.34-7.00	10.00-6.71	11.15-6.24	13.40-5.70	18.00-5.15	42.00-4.43	∞ ~3.79
12	15.20-10.10	17.30-9.20	21.00-8.40	30.80-7.45	75.40-6.54	∞ ~5.42	∞ ~4.50
30	65.00-19.50	76.70-16.90	∞ ~14.40	∞ ~11.80	∞ ~9.61	∞ ~7.45	∞ ~5.75
∞	∞ ~55.40	∞ ~38.80	∞ ~27.70	∞ ~19.40	∞ ~14.10	∞ ~8.40	∞ ~7.00

feet にいる人物と 6 feet にある建物を鮮明に写したいときは 45 mm のレンズならば f 8 に絞つて距離 4.5 feet に合わせます。又中景以遠を焦点深度内に入れる時、この表によれば容易で 12 feet に合わせて 45 mm のレンズならば f 16 に絞れば 5 feet から遠景までピントが合い、スナツプなどにはいちいち焦点調節しなくても 5 feet 以上の被写体なら安心して写せる様になつて居ります。

シンクロ撮影と露出

一般撮影の露出は絞りとシャッター速度を調節して決定するが、シンクロ撮影では閃光電球から被写体までの距離と絞りにより決定致しますので $1/25 \sim 1/10$ 秒の如き緩速シャッターでも露出の変化はありません。しかし $1/100$ 秒以上の高速度撮影では閃光電球の光力の一部しか使わないので、その光量により距離か、絞りを加減しなければなりません。

常に一定の閃光電球を使いその光量を有効に使うシャッターを決定して置けば絞りとは別表の通りになります。又被写体の明暗、室内の明暗により幾分異なりますが、自然光の殆んどない所では閃光電球の光だけを考えた別表の露出を御使用下さい。



シンクロ標準露出表

閃光電球から被写体までの距離	feet 4.5	6	8	12	15	18
小型閃光電球	f 16	11	2	5.6	4.6	4

使用フィルム SS, USS (ASA 100) 級
シャッタースピード $1/50$ 秒又は $1/25$ 秒

PETRI camera



シンクロ撮影について

シンクロ撮影については応々にして故障を生じたり撮影に不馴れの為、失敗を起しますので良く研究、点検してから撮影にかゝりませう。

閃光電球不発

フラッシュガンの故障——撮影前にテストランプにてテストします。

コードの接続不良——コードの断線も応々あります。

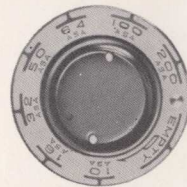
電球の不良——口金のサビて居るものはさげませう。

乾電池の不良

乾電池が古くなると電圧が低下する為、不発又は発火しても同調しない原因になります。電池には積層、単一乾電池の二種ありますが高速度迄同調する積層電池が至便です。

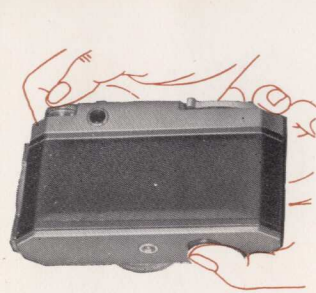
ペトリカメラはMXS接点になつて居りますから全シャッタースピードにフルシンクロ致します。

Film Indicator



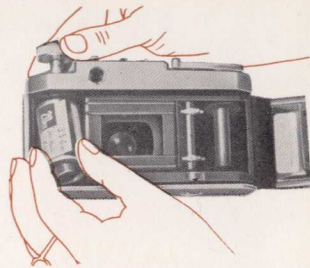
フィルム指示表

ペトリ35のフィルム指示表により装填されたフィルムの種別を知る事が出来ます。35mmフィルムは色々種類がありますので、どのフィルムを装填したか区別がつかなくなる事があります。かようにフィルム指示表は御使用の際にフィルムの種別（ASA）を記憶するのに役立つ事となります。フィルム指示表には通常使用される六種のフィルムの型の名が記されてあります故装填されたフィルムの感光度（ASA）を指先にて矢印に合わせる様に廻して下さい。



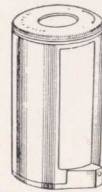
フィルム捲戻し

下部のリターンノックを押し乍らフィルムを再び捲き戻す。



フィルム取外し

上部リターンノックを引き出してマガジンを取り出します。



ペトリマガジン

従来はパトロネ使用が多かったが、パトロネは元来一回だけの使用に耐え得る程度でフィルム出口のゴミやキズ漏光の恐れがあり長期の使用は出来ません。為弊社は裏蓋開閉式35mmカメラに使用出来るマガジンの発売を致す事になりました。これは画期的製品と言へる完璧品で必ずや御使用者の御満足を得る事を確信致します。

撮影が全部終り、フィルムを取り出す方法

撮影が終ったら

撮り終ったフィルムはすぐ現像することが大切です。よく撮影済のフィルムをポケットに入れて持ち歩く人がいますが、これなどは絶対にさげなければなりません。特に夏の如き高湿、高温に露出されたフィルムが合うと、カブリが現れますし、フラットになる傾向があります。特に甚しい場合は線状のカブリや斑点があらわれたり、マガジンにフィルムが貼り付く場合があります故、早めに現像することが必要です。

撮影完了フィルムの取り扱いは、マガジンに巻き戻します故、うっかりすると撮影前か撮影後のフィルムか区別が付かなくなります故、未撮影のフィルムと区別する為、先端を少し切り取るなりフィルムの膜面にペンで被写体、天候などを記入しておくとも便利です。よく全部捲き込む人も居りますが、空のマガジンと間違えることがあります故、注意致しませう。

ペトリフィルターに就いて

フィルターの効用は今更述べるまでもありませんが、現在の感光材料ではフィルターを欠く事は出来ません。唯、多種多様のフィルターを使い分けるのは余りにも繁雑です。ペトリフィルターはどうしても必要な三種を選んでペトリ専用としました。

常時及びカラー用として…UV 野外風景用として…Y2 ポートレート用として……GY

此の三種を適宜使つて戴けば先づ不自由はありません。ペトリ専用フィルターは充分吟味された光学系の材料を使用し厳重な検査を経たものであります。



種 別 番 号	色 相	オゾンパ ンの露出 倍数	フ ェ イ ル タ ー の 使 用 効 果
Y2	黄	2 倍	青色を殆んど吸収して白雲などはつきり現れます。赤黄緑の入った風景など綺麗に撮れます。
GY	黄緑	2 倍	色の多い被写体をパナクロで撮る時目を見た色感を現します。青空をバックにしたポートレート撮影には特に有効です。

カメラの取扱ひと保存

カメラはよほど無理な扱ひ方をしない限り撮影中にそう故障を越すものではありませんが、カメラは一種の精密機械ですから機構を無視して取扱うと故障の原因になります。特に注意すべきはレンズシャッターです。これは一度セットした後、シャッタースピードを変更することは故障の最大原因になります。又セットしたまま、何日もほつて置くことはスプリングを弱めます故、必ずシャッターを最後に切る様習慣づけませう。

カメラの保存は毎日カメラを使用して居る場合は問題ありませんが一ヶ月に一回位の時は特に注意ませう。保存する時はカメラをケースから出して別々に箱に入れておきます。場所は湿気のない乾燥した所(タンス、桐箱等)に置ませう。又カメラをしまう時は各部点検手入れしてからしまひます。保存が長期の場合は時々取り出して点検します。

株式会社 栗林写真機械製作所

営業所 東京都千代田区神田錦町三丁目一六番地
国内関係電話東京二九局(29)六四六二四番
工場 東京都足立区梅島町一番地
輸出関係 電話足立(88)二〇八五番
四五五九番

お問合せは

東京・千代田・神田錦町三一・一六

ペトリカメラサービステーション





Kuribayashi Camera Industry, Inc.

Export Office: No. 1, Umejima-machi, Adachi-ku
Tokyo, Japan Tel. (88) 2085, 4559

Domestic Office: No. 16, 3-chome, Nishiki-cho, Kanda
Chiyoda-ku, Tokyo, Japan Tel. (29) 4624, 6386

目次

- ① The PETRI 35 CAMERA... 1
- ② カーペルシャッター..... 2 ~ 3
- ③ オリコールレンズ..... 4 ~ 5
- ④ ペトリ35の機構..... 6
- ⑤ 撮影準備の方法..... 7 ~ 9
- ⑥ カメラの持ち方, 構え方..... 10 ~ 11
- ⑦ ファインダーの見方..... 12 ~ 13
- ⑧ 絞りとシャッターの調節..... 14 ~ 15
- ⑨ オリコールレンズの特徴..... 16
- ⑩ カーペルシャッター M×S..... 17
- ⑪ 焦点深度の活用..... 18 ~ 19
- ⑫ シンクロ撮影と露出..... 20 ~ 21
- ⑬ シンクロ撮影について 22
- ⑭ フィルムインヂゲータ
の合せ方..... 23
- ⑮ 撮影が終わったら..... 24 ~ 25
- ⑯ ペトリフィルターについて..... 26
- ⑰ カメラの保存と対策..... 27